

目次

本書に寄せて	v
訳者まえがき	vii
まえがき	ix
本書の内容	xi
実行環境について	xiii
参考書籍	xiv
本書の表記法	xvi
ドキュメント規則	xvii
意見と質問	xvii
謝辞	xviii
1章 文字列	1
概要	1
レシピ1.1 部分文字列を取り出す	3
レシピ1.2 デフォルト値を設定する	6
レシピ1.3 一時変数を使わずに値を交換する	9
レシピ1.4 ASCII文字をコード値に（コード値をASCII文字に）変換する	10
レシピ1.5 文字列を1文字ずつ処理する	11
レシピ1.6 文字列を単語または文字単位で逆順にする	14
レシピ1.7 タブをスペースに／スペースをタブに	16
レシピ1.8 ユーザ入力内の変数を展開する	17
レシピ1.9 大文字／小文字の変換	19
レシピ1.10 文字列中の関数と式を展開する	22
レシピ1.11 ヒアドキュメントをインデントする	24
レシピ1.12 段落を整形する	28
レシピ1.13 文字をエスケープする	29
レシピ1.14 文字列の先頭と末尾の空白文字を削除する	31
レシピ1.15 カンマで区切られたデータ（CSV）の解析	32
レシピ1.16 Soundexマッチング	34
プログラム1.1 fixstyle	35
プログラム1.2 psgrep	38

2章 数値	43
概要	43
レシピ2.1 文字列が有効な数値を表すかどうかチェックする	44
レシピ2.2 浮動小数点数を比較する	46
レシピ2.3 浮動小数点数を丸める	47
レシピ2.4 2進表現を10進表現（10進表現を2進表現）に変換する	48
レシピ2.5 連続する整数を操作する	50
レシピ2.6 ローマ数字を扱う	51
レシピ2.7 乱数を生成する	52
レシピ2.8 異なる乱数を生成する	53
レシピ2.9 乱数をもっとランダムにする	54
レシピ2.10 偏りのある乱数を生成する	55
レシピ2.11 ラジアンではなく、度で三角法を実行する	57
レシピ2.12 三角関数を計算する	58
レシピ2.13 対数をとる	59
レシピ2.14 行列の積を計算する	60
レシピ2.15 複素数を使用する	62
レシピ2.16 8進数と16進数を10進数に変換する	64
レシピ2.17 数値を位取り用のカンマで区切る	65
レシピ2.18 正しい複数形を出力する	66
プログラム2.1 素因数分解	68
3章 日付と時刻	71
概要	71
レシピ3.1 今日の日付を得る	73
レシピ3.2 DMYHMSをエポック秒に変換する	75
レシピ3.3 エポック秒をDMYHMSに変換する	76
レシピ3.4 日付の加減算を行なう	77
レシピ3.5 2つの日付の差を求める	78
レシピ3.6 日付が何曜日、何日、年初から何日め、年初から何週めになるかを求める ..	80
レシピ3.7 文字列をパースして日付と時刻を取り出す	82
レシピ3.8 日付を出力する	83
レシピ3.9 高精度タイマー	85
レシピ3.10 短いスリープ	87
プログラム3.1 hopdelta	88

4 章 配列	91
概要	91
レシピ4.1 プログラム内でリストを定義する	92
レシピ4.2 リストをカンマ付きで出力する	94
レシピ4.3 配列のサイズを変更する	96
レシピ4.4 リストの全要素について何かする	98
レシピ4.5 配列要素に対する繰り返し処理をリファレンスで書きたい	102
レシピ4.6 リストから一意な要素を取り出す（重複する要素を取り除く）	103
レシピ4.7 一方の配列にはあって他方の配列にはない要素を見つける	105
レシピ4.8 一意なリストの和、差、積を計算する	107
レシピ4.9 2つの配列を連結する	109
レシピ4.10 配列を逆順にする	110
レシピ4.11 配列の複数の要素を処理する	111
レシピ4.12 テストをパスする最初の要素を見つける	113
レシピ4.13 特定の条件を満たす配列内の要素をすべてを見つける	115
レシピ4.14 配列を数値でソートする	116
レシピ4.15 計算可能なフィールドでリストをソートする	118
レシピ4.16 循環リストを実装する	122
レシピ4.17 配列をランダム化する	123
プログラム4.1 words	124
プログラム4.2 permute	126
5 章 ハッシュ	131
概要	131
参考	133
レシピ5.1 ハッシュに要素を追加する	133
レシピ5.2 ハッシュ内にキーが存在するかどうか調べる	134
レシピ5.3 ハッシュからエントリを削除する	136
レシピ5.4 ハッシュのエントリを処理する	138
レシピ5.5 ハッシュを出力する	141
レシピ5.6 ハッシュ要素を挿入した順に取り出す	142
レシピ5.7 1つのキーに複数の値が対応するハッシュ	143
レシピ5.8 ハッシュを反転する	145
レシピ5.9 ハッシュをソートする	147
レシピ5.10 ハッシュをマージする	148
レシピ5.11 2つのハッシュの両方にあるキー、または一方にしかないキーを見つける	150
レシピ5.12 リファレンスをハッシュする	151

レシビ5.13	ハッシュのサイズを事前に決める	152
レシビ5.14	最もよく現れるデータを見つけたい	153
レシビ5.15	データ間の関係を表現する	154
プログラム5.1	dutree	156
6章	パターンマッチ	161
概要		161
3つの謎		163
パターンマッチ修飾子		165
特殊変数		166
レシビ6.1	コピーと置換を同時に行ないたい	167
レシビ6.2	文字にマッチさせる	168
レシビ6.3	単語にマッチさせる	169
レシビ6.4	正規表現にコメントをつける	170
レシビ6.5	N番めのマッチを見つける	173
レシビ6.6	複数行のマッチング	176
レシビ6.7	パターンで区切られたレコードを読む	179
レシビ6.8	一定範囲の行を取り出す	180
レシビ6.9	シェルのグロブを正規表現としてマッチさせる	183
レシビ6.10	展開マッチの処理速度を上げる	184
レシビ6.11	パターンが有効かどうかをテストする	189
レシビ6.12	正規表現内でロケール設定にしたがう	191
レシビ6.13	あいまいなマッチング	192
レシビ6.14	前回パターンがマッチした位置からマッチングを行なう	194
レシビ6.15	欲張りマッチと非欲張りマッチ	195
レシビ6.16	重複する単語を削除する	198
レシビ6.17	文字列パターン内で、AND、OR、NOTを表現する	201
レシビ6.18	マルチバイト文字にマッチさせる	205
レシビ6.19	有効なメールアドレスにマッチさせる	210
レシビ6.20	省略形にマッチさせる	211
プログラム6.1	urlify	214
プログラム6.2	tcgrep	215
レシビ6.21	正規表現集	221
7章	ファイルアクセス	225
概要		225
ファイルハンドルを取得する		225

標準のファイルハンドル	226
入出力操作	227
レシピ7.1 ファイルをオープンする	229
レシピ7.2 普通と違うファイル名でファイルをオープンする	233
レシピ7.3 ファイル名に含まれるチルダを展開する	235
レシピ7.4 エラーをファイル名で報告する	236
レシピ7.5 一時ファイルを作成する	237
レシピ7.6 プログラムの内部にファイルを格納する	238
レシピ7.7 フィルタを書く	240
レシピ7.8 ファイルを一時ファイルを使ってその場で更新する	245
レシピ7.9 ファイルを-iスイッチを使ってその場で更新する	246
レシピ7.10 一時ファイルを使わずにファイルをその場で更新する	248
レシピ7.11 ファイルをロックする	249
レシピ7.12 出力をフラッシュする	252
レシピ7.13 プログラムの実行をブロックせずに多くのファイルハンドルから読み込む	255
レシピ7.14 非ブロック型I/Oを行なう	257
レシピ7.15 読み取るバイト数を決定する	258
レシピ7.16 ファイルハンドルを変数に格納する	260
レシピ7.17 オープンされた出力ファイルハンドルをキャッシュする	263
レシピ7.18 多くのファイルハンドルに同時に書き出す	264
レシピ7.19 ファイルディスクリプタを数値でオープンまたはクローズする	265
レシピ7.20 ファイルハンドルをコピーする	267
プログラム7.1 netlock	268
プログラム7.2 lockarea	271
8章 ファイルコンテンツ	277
概要	277
レシピ8.1 継続文字のある行を読む	281
レシピ8.2 ファイルの行数（段落数、レコード数）をカウントする	282
レシピ8.3 ファイル内のすべての単語を処理する	284
レシピ8.4 ファイルを行単位または段落単位で逆向きに読む	285
レシピ8.5 成長するファイルを追いかけてながら読む	287
レシピ8.6 ファイルから行をランダムに取り出す	288
レシピ8.7 ファイル内のすべての行をシャッフルしたい	290
レシピ8.8 ファイル内の特定の行を読み込む	290
レシピ8.9 可変長テキストフィールドを処理する	294
レシピ8.10 ファイルの最後の行を削除する	295

レシピ8.11	バイナリファイル进行处理する	296
レシピ8.12	ランダムアクセスI/Oを使用する	298
レシピ8.13	ランダムアクセスファイルを更新する	298
レシピ8.14	バイナリファイルから文字列を読み取る	300
レシピ8.15	固定長レコードを読む	301
レシピ8.16	configファイルを読む	303
レシピ8.17	ファイルの信頼性をテストする	306
プログラム8.1	tailwtmp	308
プログラム8.2	tctee	309
プログラム8.3	laston	310
9章 ディレクトリ		313
概要		313
まとめ		318
レシピ9.1	タイムスタンプを取得/設定する	318
レシピ9.2	ファイルを削除する	320
レシピ9.3	ファイルをコピーまたは移動する	321
レシピ9.4	同じファイルに2つの異なる名前をつける	322
レシピ9.5	ディレクトリ内のすべてのファイル进行处理する	323
レシピ9.6	パターンにマッチするファイル名のリストを取得する(グロブする)	325
レシピ9.7	ディレクトリ内のすべてのファイルを再帰的に処理する	327
レシピ9.8	ディレクトリとその中身を削除する	330
レシピ9.9	ファイルをリネームする	332
レシピ9.10	ファイル名をその構成要素に分割する	334
プログラム9.1	symirror	335
プログラム9.2	lst	336
10章 サブルーチン		341
概要		341
レシピ10.1	サブルーチンの引数にアクセスする	342
レシピ10.2	変数を関数内に局所化する	344
レシピ10.3	永続的な局所変数を作成する	346
レシピ10.4	実行中の関数の名前を知る	348
レシピ10.5	配列やハッシュをリファレンスで渡す	349
レシピ10.6	戻り値のコンテキストを調べる	351
レシピ10.7	名前付き引数を渡す	352
レシピ10.8	いくつかの戻り値を捨てる	353

レシピ10.9	2つ以上の配列またはハッシュを返す	354
レシピ10.10	エラーを返す	355
レシピ10.11	関数の型宣言 (プロトタイプ)	356
レシピ10.12	例外処理	359
レシピ10.13	グローバル変数を退避する	361
レシピ10.14	関数を再定義する	364
レシピ10.15	AUTOLOADを使って未定義関数の呼び出しをトラップする	366
レシピ10.16	サブルーチンをネスト (入れ子に) する	368
プログラム10.1	メールをソートする	369
11章	リファレンスとレコード	373
概要		373
リファレンス		373
無名データ		375
レコード		378
レシピ11.1	配列のリファレンスを取得する	379
レシピ11.2	配列のハッシュを作成する	381
レシピ11.3	ハッシュのリファレンスを取得する	382
レシピ11.4	関数へのリファレンスを取得する	383
レシピ11.5	スカラーへのリファレンスを取得する	386
レシピ11.6	スカラーリファレンスの配列を作成する	388
レシピ11.7	オブジェクトの代わりにクロージャを使用する	389
レシピ11.8	メソッドへのリファレンスを作成する	391
レシピ11.9	レコードを作成する	392
レシピ11.10	ハッシュレコードをテキストファイルに書き出す (テキストファイルから読み込む)	395
レシピ11.11	データ構造体を出力する	396
レシピ11.12	データ構造体をコピーする	398
レシピ11.13	データ構造体をディスクに保存する	399
レシピ11.14	透過的な持続性データ構造体	401
プログラム11.1	2分木	402
12章	パッケージ、ライブラリ、モジュール	405
概要		405
モジュール		406
インポートとエクスポートのルール		408
その他のライブラリファイル		409

車輪を再発明するな (利用できるものは利用せよ)	410
レシピ12.1 モジュールのインタフェースを定義する	411
レシピ12.2 requireまたはuseで発生したエラーをトラップする	413
レシピ12.3 実行時までuseの実行を遅らせる	415
レシピ12.4 変数をモジュール内に局所化する	417
レシピ12.5 呼び出し元のパッケージを知る	420
レシピ12.6 モジュールの後処理を自動化する	422
レシピ12.7 自分自身のモジュールディレクトリを持つ	424
レシピ12.8 モジュールを配布する準備をする	426
レシピ12.9 SelfLoaderを使ってモジュールの読み込みを高速化する	428
レシピ12.10 AutoLoaderを使ってモジュールの読み込みを高速化する	430
レシピ12.11 組み込み関数をオーバーライドする	431
レシピ12.12 組み込み関数のようにエラーや警告を出力する	432
レシピ12.13 パッケージを間接的に参照する	434
レシピ12.14 h2phを使用してCの#includeファイルを変換する	436
レシピ12.15 h2xsでCのコードを使用したモジュールを作成する	439
レシピ12.16 PODでモジュールのコメントを書く	442
レシピ12.17 CPANモジュールをビルドおよびインストールする	445
プログラム12.1 モジュールテンプレート	447
プログラム12.2 インストールしたモジュールのバージョンと説明を検索する	448

13章 クラス、オブジェクト、tie

概要	453
オブジェクトの傘の下	453
メソッド	455
継承	457
間接オブジェクト記法に関する注意	458
オブジェクト関連用語について	459
哲学的な余談	459
レシピ13.1 オブジェクトを作成する	460
レシピ13.2 オブジェクトを破壊する	462
レシピ13.3 インスタンスデータを管理する	464
レシピ13.4 クラスデータを管理する	467
レシピ13.5 クラスを構造体として使う	470
レシピ13.6 オブジェクトを複製する	473
レシピ13.7 メソッドを間接的に呼び出す	475
レシピ13.8 サブクラス関係かどうか判定する	476

レシピ 13.9	継承可能なクラスを書く	478
レシピ 13.10	オーバーライドされたメソッドにアクセスする	480
レシピ 13.11	AUTOLOADを使って属性メソッドを生成する	482
レシピ 13.12	データ継承に関する問題を解決する	484
レシピ 13.13	環状データ構造を扱う	486
レシピ 13.14	演算子をオーバーロードする	489
	例：演算子オーバーロードを使用したStrNumクラス	491
	例：演算子オーバーロードを使用したFixNumクラス	492
レシピ 13.15	tieを使ってマジック変数を作成する	495
	tieモジュールの例：local宣言されていない\$_変数を使用禁止にする	496
	tieモジュールの例：値が常に追加されるハッシュを作成する	498
	tieモジュールの例：大文字と小文字を区別しないハッシュ	499
	tieモジュールの例：キーと値のどちらでも検索できるハッシュ	500
	tieモジュールの例：アクセス回数をカウントするハンドル	501
	tieモジュールの例：複数の書き出し先を持つファイルハンドル	501
14章	データベースアクセス	503
	概要	503
レシピ 14.1	DBMファイルを作成／使用する	505
レシピ 14.2	DBMファイルを空にする	508
レシピ 14.3	異なるDBMファイルに変換する	509
レシピ 14.4	DBMファイルをマージする	510
レシピ 14.5	DBMファイルをロックする	511
レシピ 14.6	大規模なDBMファイルをソートする	513
レシピ 14.7	テキストファイルをデータベース配列として扱う	515
レシピ 14.8	DBMファイルに複雑なデータを格納する	518
レシピ 14.9	永続的なデータ	520
レシピ 14.10	DBIおよびDBDを使用してSQLコマンドを実行する	522
プログラム 14.1	ggh—Netscapeの履歴をgrepする	524
15章	ユーザインタフェース	529
	概要	529
レシピ 15.1	プログラムの引数を解析する	531
レシピ 15.2	プログラムがインタラクティブに動作しているかどうかを判定する	533
レシピ 15.3	画面を消去する	535
レシピ 15.4	端末またはウィンドウのサイズを調べる	536
レシピ 15.5	テキストの色を変える	537

レシピ 15.6	キーボードから読み取る	539
レシピ 15.7	端末でビーブ音を鳴らす	540
レシピ 15.8	POSIX termiosを使用する	541
レシピ 15.9	入力待ちをチェックする	543
レシピ 15.10	パスワードを読む	544
レシピ 15.11	入力を編集する	545
レシピ 15.12	画面を制御する	547
レシピ 15.13	Expectモジュールを使って別のプログラムを制御する	549
レシピ 15.14	Tkを使ってメニューを作成する	551
レシピ 15.15	Tkでダイアログボックスを作成する	554
レシピ 15.16	Tkのウィンドウサイズ変更イベントに応答する	557
レシピ 15.17	Windows Perl/Tkを使ってDOS窓が表示されないようにする	559
プログラム 15.1	小さなtermcapプログラム	560
プログラム 15.2	tkshufflepod	562
16章	プロセス管理とプロセス間通信	565
概要	565
プロセスの作成	565
シグナル	566
レシピ 16.1	プログラムの出力を収集する	568
レシピ 16.2	別のプログラムを起動する	569
レシピ 16.3	現在のプログラムを別のプログラムで置換する	572
レシピ 16.4	別のプログラムと読み書きする	573
レシピ 16.5	自分の出力をフィルタリングする	575
レシピ 16.6	入力を前処理する	577
レシピ 16.7	プログラムのSTDERRを読み込む	578
レシピ 16.8	相手プログラムの入力と出力を制御する	581
レシピ 16.9	相手プログラムの入力、出力、エラー出力を制御する	583
レシピ 16.10	関連プロセス間で通信する	585
レシピ 16.11	名前付きパイプを使ってプロセスをファイルのように見せる	590
レシピ 16.12	異なるプロセス間で変数を共有する	594
レシピ 16.13	使用可能なシグナルを一覧表示する	596
レシピ 16.14	シグナルを送信する	597
レシピ 16.15	シグナルハンドラを設定する	598
レシピ 16.16	一時的にシグナルハンドラを上書きする	600
レシピ 16.17	シグナルハンドラを書く	601
レシピ 16.18	Ctrl-Cを捕捉する	603

レシピ16.19	ゾンビプロセスの蓄積を避ける	605
レシピ16.20	シグナルをブロックする	607
レシピ16.21	操作をタイムアウトにする	609
プログラム16.1	sigrand	610
17章 ソケット		615
概要		615
レシピ17.1	TCPクライアントを書く	618
レシピ17.2	TCPサーバを書く	620
レシピ17.3	TCPを介して通信する	623
レシピ17.4	UDPクライアントをセットアップする	626
レシピ17.5	UDPサーバをセットアップする	629
レシピ17.6	UNIXドメインソケットを使う	631
レシピ17.7	ソケットの他方の端を特定する	633
レシピ17.8	自分自身の名前とアドレスを知る	634
レシピ17.9	forkした後、ソケットをクローズする	635
レシピ17.10	双方向クライアントを書く	637
レシピ17.11	サーバをforkする	639
レシピ17.12	サーバをあらかじめforkしておく	640
レシピ17.13	forkしないサーバ	643
レシピ17.14	マルチホームドサーバを書く	647
レシピ17.15	デーモンを作成する	648
レシピ17.16	要求に応じてサーバを再起動する	650
プログラム17.1	backsniff	651
プログラム17.2	fwdport	652
18章 インターネットサービス		657
概要		657
レシピ18.1	単純なDNSルックアップ	658
レシピ18.2	FTPクライアントになる	661
レシピ18.3	メールを送信する	665
レシピ18.4	Usenetニュースメッセージの購読と投稿	668
レシピ18.5	POP3を使ってメールを読む	671
レシピ18.6	プログラムからtelnetをシミュレートする	673
レシピ18.7	マシンをpingする	675
レシピ18.8	Whoisを使用してInterNICから情報を検索する	677
プログラム18.1	expnとvrfy	678

19章 CGIプログラミング	681
概要	681
アーキテクチャ	681
動作概要	683
セキュリティ	684
HTMLとフォーム	684
Web関連リソース	684
レシピ19.1 CGIスクリプトを書く	685
レシピ19.2 エラーメッセージをリダイレクトする	688
レシピ19.3 500 Server Errorに対処する	689
レシピ19.4 安全なCGIプログラムを書く	693
レシピ19.5 CGIスクリプトの効率アップを図る	696
レシピ19.6 シェルエスケープなしでコマンドを実行する	698
レシピ19.7 HTMLショートカット関数を使ってHTML形式のリストや表を簡単に作成する ..	700
レシピ19.8 別のロケーションにリダイレクトする	702
レシピ19.9 HTTPによるやり取りを直接デバッグする	705
レシピ19.10 クッキーを管理する	707
レシピ19.11 Stickyウィジェットを作成する	709
レシピ19.12 マルチスクリーンCGIスクリプトを書く	710
レシピ19.13 フォームをファイルまたはメールパイプに保存する	713
プログラム19.1 chemiserie	715
20章 Webオートメーション	721
概要	721
レシピ20.1 特定のURLからドキュメント抽出する	722
レシピ20.2 フォームの自動送信	725
レシピ20.3 URLを取り出す	726
レシピ20.4 ASCIIテキストをHTMLに変換する	729
レシピ20.5 HTMLからASCIIテキストに変換する	730
レシピ20.6 HTMLタグを取り出す／削除する	731
レシピ20.7 切れたリンクを見つける	733
レシピ20.8 最新のリンクを見つける	735
レシピ20.9 HTMLテンプレートを作成する	736
レシピ20.10 Webページをミラーリングする	740
レシピ20.11 ロボットを作成する	741
レシピ20.12 Webサーバのログファイルを解析する	742
レシピ20.13 サーバログを処理する	744

プログラム20.1	htmlsub	747
プログラム20.2	hrefsub	748

索引	750
----	-----

サンプルプログラムの目次

例1-1	slowcat (ゆっくりとテキストを出力)	13
例1-2	randcap (入力文字の20%をランダムに大文字にする)	21
例1-3	wrapdemo (Text::Wrapの動作方法を見る)	28
例1-4	fixstyle (<DATA>の左側の文字列を右側の文字列に置換)	35
例1-5	fixstyle2 (fixstyleの高速版)	36
例1-6	psgrep (psの出力から条件を満たす行だけを抽出)	39
例2-1	bigfact (素因数分解を行なう)	68
例3-1	hopdelta (各ホップでの遅延時間を出力)	89
例4-1	commify_series (リスト出力に適切なカンマを挿入)	95
例4-2	words (行を収集して列に出力する)	124
例4-3	tsc_permute (tsc版単語の並びの全順列を返す)	127
例4-4	mjd_permute (mjd版単語の並びの全順列を返す)	128
例5-1	countfrom (送信者別のメッセージ数をカウント)	140
例5-2	foodfind (色に対応する食べ物、または食べ物に対応する色を検索)	146
例5-3	dutree (duの出力をソートかつインデントされた形式に変換)	157
例5-4	dutree_orig (perl5より前のバージョンでのdutree)	159
例6-1	resname (foo.bar.comをfoo.bar.com[204.148.40.9]に変換)	171
例6-2	killtags (HTMLタグ削除 (あまりよくない))	177
例6-3	headerfy (章ヘッダをHTMLタグで囲む)	177
例6-4	popgrep1 (配列に格納されている項目のマッチ-遅いがわかりやすい)	185
例6-5	popgrep2 (配列に格納されている項目のマッチ-速いがクォートするのが厄介)	186
例6-6	popgrep3 (配列に格納されている項目のマッチ-build_match_funcのアルゴリズムを使用)	187
例6-7	grepauth (1つのパターンまたはすべてのパターンがマッチしたとき真を返す)	187
例6-8	popgrep4 (配列に格納されている項目のマッチ - Regexpモジュールを使用)	188
例6-9	paragrep (パラグラフをgrepするちょっとしたプログラム)	189
例6-10	localeg (ロケールの効果を試す)	192
例6-11	prime_pattern (パターンマッチを使用して引数を素因数分解)	200
例6-12	minigrep (簡易grep)	202
例6-13	urlify (URL (またはそれらしきもの) をハイパーリンクにする)	214
例6-14	tcgrep (Tom Christiansen作、Perl版grep)	215

例7-1	findlogin1 (文字列"login"を含むすべての行を出力 (1))	243
例7-2	findlogin2 (文字列"login"を含むすべての行を出力 (2))	243
例7-3	lowercase1 (すべての行を小文字に変換 (1))	243
例7-4	lowercase2 (すべての行を小文字に変換 (2))	243
例7-5	countchunks (単語の数を数える)	244
例7-6	seeme (stdioバッファリングによる出力の例)	253
例7-7	getpcomidx (www.perl.comのindex.htmlドキュメントを取得)	254
例7-8	splitwulog (wuftpdのログを認証済みユーザごとに別ファイルに分割)	264
例7-9	drivelock (File::LockDirモジュールのデモ)	269
例7-10	File::LockDir (File::LockDirモジュール)	269
例7-11	lockarea (fcntlによるレコードロックのデモ)	272
例8-1	print_line-v1 (print_line - 線形方式)	292
例8-2	print_line-v2 (print_line - インデックス方式)	292
例8-3	print_line-v3 (print_line - DB_File方式)	293
例8-4	weekearly (指定されたユーザのログイン日付を1週間前に変更)	299
例8-5	bgets (バイナリファイルの指定されたアドレスから文字列を読み込む)	300
例8-6	strings (バイナリファイルから文字列を取り出す)	301
例8-7	tailwtmp (ログインとログアウトを監視)	308
例8-8	tctee (Tom Christiansen作、Perl版tee)	309
例8-9	laston (指定されたユーザが最後にログインした日時を知る)	311
例9-1	uvi (アクセス時刻を変更せずにファイルを編集)	319
例9-2	fdirs (すべてのディレクトリを探索)	329
例9-3	rmtree1 (ディレクトリツリー全体を削除する (1))	330
例9-4	rmtree2 (ディレクトリツリー全体を削除する (2))	331
例9-5	rename (ファイル名の変更)	332
例9-6	symirror (ディレクトリツリーの複写)	335
例9-7	lst (ディレクトリの内容を深さ優先で探索しソートしてリスト表示)	337
例10-1	bysub1 (件名によるソート)	369
例10-2	bysub2 (件名によるソート (awk風))	369
例10-3	bysub3 (件名によるソート (ハッシュレコードを使用))	370
例10-4	datesort (件名を主キー、日付を副キーにしてソート)	370
例11-1	bintree (2分木のデモ)	403
例12-1	jam (文字を飲み込む)	438
例12-2	winsz (行と列を文字数またはピクセル数で計算)	438
例12-3	pmdesc (インストールされているPerlモジュールの名前、バージョン、説明を出力)	448
例13-1	StrNum (StrNumクラス)	491
例13-2	FixNum (FixNumクラス)	493

例13-3	ValueRing (ValueRingクラス)	496
例13-4	UnderScore (UnderScoreモジュール)	497
例13-5	Tie::AppendHash (キーが配列に蓄積されるハッシュを生成)	498
例13-6	Tie::Folded (キーの大文字と小文字を区別しないハッシュ)	499
例13-7	Tie::RevHash (キーと値のどちらでも検索できるハッシュ)	501
例13-8	Counter (Counterクラスの最も簡単な実装)	501
例13-9	Tie::Tee (teeのような機能を実装するtieハンドル)	502
例14-1	userstats (ログインしているユーザの統計)	506
例14-2	db2gdbm (DBをGDBMに変換)	509
例14-3	dblockdemo (データベースロックのデモ)	511
例14-4	sortdemo (自動的なdbmソートのデモ)	513
例14-5	recno_demo (recnoインタフェースへのAPIを直接使用したデモ)	516
例14-6	mldbmdemo (MLDBMにDB_Fileを使用したデモ)	521
例14-7	dbusers (MySQLのusers表を管理)	524
例14-8	ggh (Netscapeの履歴ファイルを調べる)	525
例15-1	sascii (押されたキーのASCII値を表示)	539
例15-2	demo POSIX termios (POSIX termiosのデモ)	542
例15-3	checkuser (正しいパスワードかどうかチェック)	545
例15-4	vbsh (単純なシェル)	546
例15-5	rep (コマンドを画面上で繰り返し実行)	547
例15-6	tksample3 (ダイアログボックスのデモ)	555
例15-7	tksample4 (警告ダイアログボックスをポップアップ)	556
例15-8	loader (DOS窓を表示せずにPerlスクリプトを起動)	559
例15-9	tcapdemo (カーソル位置を直接制御)	560
例15-10	tkshufflepod (podファイル内の=head1セクションを並び替える)	563
例16-1	qnumcat (加算的输出フィルタのデモ)	576
例16-2	cmd3sel (子の入力、出力、エラーをすべて制御)	584
例16-3	pipe1 (pipeとforkを使用して親が子に書き出す)	586
例16-4	pipe2 (pipeとforkを使用して子が親に書き出す)	587
例16-5	pipe3 (fork形式のopenを使用して親が子に書き出す)	588
例16-6	pipe4 (fork形式のopenを使用して子が親に書き出す)	588
例16-7	pipe5 (2つのパイプを使用して双方向通信を行なう)	589
例16-8	pipe6 (socketpairを使用した双方向通信)	589
例16-9	dateplan (.planファイルに現在の日付と時刻を書き込む)	592
例16-10	fifolog (fifoからのログメッセージを読み出し記録する)	592
例16-11	sharestest (forkしたプロセス間で変数を共有するデモ)	595
例16-12	sigrand (ランダムなfortuneを選んで.signatureファイルに書き出す)	611

例17-1	clockdrift (別のシステムの時刻を実行しているシステムの時刻と比較)	628
例17-2	udpqotd (UDPメッセージサーバ)	629
例17-3	udpmsg (udpqotdサーバにメッセージを送信)	630
例17-4	biclient (forkを使った双方向クライアント)	637
例17-5	preforker (最初にforkするサーバ)	640
例17-6	nonforker (forkを使わずに複数のクライアントを処理するサーバ)	643
例17-7	backsniff (特定のポートへの接続要求のログをとる)	652
例17-8	fdwport (特定のサービスへの代理接続転送を行なう)	653
例18-1	mxhost (あるホストのmxエクスチェンジャを見つける)	660
例18-2	hostaddr (ホスト名とIPアドレスの確認)	661
例18-3	expn (smtpにエイリアス展開処理を依頼)	679
例19-1	hiweb (CGIモジュールをロードしてWebサーバによって与えられた情報をデコード)	685
例19-2	webwhoami (だれがスクリプトを実行しているのか)	690
例19-3	salcheck (給与のチェック)	702
例19-4	oreobounce (クッキーを設定しブラウザをリダイレクト)	703
例19-5	os_snipe (現OSについて説明したJargonファイルの項目にリダイレクト)	704
例19-6	dummyhttpd (HTTPデーモンを起動しクライアントの送信内容を出力)	705
例19-7	ic_cookies (クッキーを使用したCGIスクリプト)	708
例19-8	who.cgi (あるユーザに対してwho(1)を実行し結果をきれいに出力)	709
例19-9	chemiserie (簡単なショッピングカートプログラム)	715
例20-1	titlebytes (ドキュメントのタイトルとサイズを取得)	724
例20-2	xurl (URLから一意なリンクを抽出しソート)	728
例20-3	text2html (通常テキストをhtmlソースに変換)	729
例20-4	htitle (URLからHTMLのタイトルを取り出す)	732
例20-5	churl (URLのチェック)	734
例20-6	surl (URLを最終更新日付でソート)	735
例20-7	userrep1 (SQLデータベースを使用してユーザのログイン時間をレポート (1))	738
例20-8	userrep2 (SQLデータベースを使用してユーザのログイン時間をレポート (2))	739
例20-9	sumwww (Webサーバログの内容を集計)	744
例20-10	aprept (Apacheログのレポート作成)	746
例20-11	htmlsub (HTMLファイルのテキスト本文だけを対象に置換)	747
例20-12	hrefsub (HTMLファイルのタグ内だけを対象に置換)	749